



2024年9月号(No.17)

多気町立図書館だより

食べたい本!

～本の中だけじゃもったいない!

作ってみたい! 食べてみたい! ～

美味しそうな食べものが出てくる、一般書・児童書、それぞれ12冊を司書が選びノミネート。

その中からみなさんが実際に作ってみたい! 食べてみたい! と思った本に投票してください。
期間は9月～10月。発表は11月。
実際に作りましたよ～という写真もあればぜひお待ちしております。

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>



『ひとりひとりの味』平松洋子: 著
理論社 (596p)

うっそおー! なカレーライス!?
みなさんのおうちのカレーには何が入っていますか? ソース? チョコ? パナナ? それとも...?
それぞれの家庭にそれぞれの味がある。びっくりだけど、試してみたい! そして料理が連れてくるのは味だけじゃない。懐かしい思い出も一緒によみがえる。



多気図書館

9月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 おはなし会
8	9	10	11	12	13 おはなし おもちや	14 おはなし ほけっと
15	16	17	18	19	20 赤ちゃん おはなし 会	21
22	23	24	25	26	27 整理日	28 おはなし ほけっと
29	30	おはなし会 10:30～				

ブックスタート (のびのび) 9/20 (金) 10:00～



『9月0日大冒険』
さとうまき/作 偕成社(913p)
カレンダーにあるはずのない、
9月0日の日付。そして家の周り
がジャングルに!?
夏休み、どこにも行けなかった
純たちの大冒険!

9/21(土)BANKYO文化
会館にて人形劇が上演
されるようです!

勢和図書館

9月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 おはなし会 (0歳)	5	6	7
8 ほんと カフェ	9	10	11	12	13	14 おはなし会
15	16	17	18 おはなし会 (1～3歳)	19	20	21 研修会
22	23	24	25	26	27	28 おはなし会
29	30 整理日	おはなし会 10:30～				

～ イベント 紹介～

・ほんととカフェ

と き: 9月8日(日) 13:00～

コラボ: 「のここと」さん 「金川珈琲」さん

・研修会「農地を守る～誰が? なにで? どうやって?」

と き: 9月21日(土) 14:00～ ※要申込

場 所: 勢和図書館 会議室 テキスト代: 1,100円

※各イベント詳細はチラシをご覧ください

FB・Insta → 「多気町立勢和図書館」

が「seiwallib」で検索



勢和:FB



勢和:IG

9月のおすすりめ本



『温泉ごはん 旅はおいしい!』山崎まゆみ: 著 河出書房新社 (291p)

日本全国と少しだけ海外の、魅力的な温泉やグルメそして人(女将)が紹介されています。たくさんの種類の温泉には驚かされ、食べ物の描写は実に美味しそう!

著者は、大学で観光温泉学を教えており、地方自治体の観光政策もされていて、違った視点からの話も楽しめます。温泉に行きたくなること間違いなし!

『これ、本当に「食べもの」ですか?』天笠啓祐: 著 食べもの通信社 (498.5p)

食品表示に「国内製造」と記されていたら、すべて国産と思っていませんか?

食品添加物表示では「無添加」「不使用」表示が禁止されていることをご存知でしょうか。

私たちの身体を作る食べものが、時代とともに変わってきています。しかしその安全性を知るための表示が今ではよく分からないものに...



『巨大おけを絶やすな!』竹内早希子: 著 岩波書店 (583p)

料理にかかせない、しょうゆ・みそ・酒などを仕込む大切な巨大木おけ。それが存続の危機!? 巨大木おけの職人さんがもういなくなる!? 仕込み方法が同じでも、それぞれの蔵の木おけによって味が全然違うものになる。それほど重要な木おけ。

立ち上がったのが小豆島のしょうゆ屋の蔵元と地元の大工たち。自分たちの手で巨大木おけ作りの技術を存続させようとしています...

『話す力』阿川佐和子: 著 文藝春秋 (361.4p)

長年インタビュアーとして活躍されている阿川佐和子さん。皆が彼女に心を開き、ついつい話してしまうのはきっとその人柄がそうさせているのでしょう。まるで、著者が語りかけてくれているかのような文章で、クスッと笑えるエピソードも満載。話を聞いているような気分になります。流石! 阿川さん。やっぱり「話す力」があるのです!



『秘密の花園』朝井まかて: 著 日経BP日本経済新聞出版 (F913.6p)

父や兄、身近な人たちの不幸を多く経験し、また自身も転々とした人生を歩んできた滝沢馬琴。それでもものを書くことはやめず、数多くの作品を世に出した。特に「南総里見八犬伝」は大戯作となった。馬琴は滝沢家の再興を夢見、大戯作に挑む! いかにしてこの大作が生まれたのか!

『南総里見八犬伝 1～4』滝沢馬琴: 原作 偕成社 (913p)

伏姫と八房の魂が宿る八人の犬士。玉梓の呪いに立ち向かう!

『なんどでも生まれる』彩瀬まる: 著 ポプラ社 (F913.6p)

チャボの桜さんが語るととても優しい物語。危ないところを茂さんに助けられた桜さんは、茂さんのことが大好き。茂さんのために奮闘します! 桜さんが教えてくれる、ご近所界隈の鳥さん情報が楽しい。情に厚いセキセイインコのお師匠が素敵です!

